

東京合唱協会

第9回定期演奏会

1991年4月7日(日)2:00PM
東京文化会館(小ホール)

指揮 内藤 彰

主催 東京合唱協会

協賛 アルファ芸術協会

マネージメント ベアート音楽事務所



東京合唱協会

東京合唱協会は、'84年4月、常任指揮者に内藤彰を擁し、結成されたプロ合唱団です。オペラや色々なコンサートでソロ活動をしている声楽家を中心に組織され、これまでに定期演奏会、各地での特別演奏会、ファミリーコンサート、オペレッタ公演、テレビ出演等の他、音楽鑑賞教室、NHK学校放送、教育用レコードの録音等、教育関係でも幅広く活躍しています。特に定期演奏会の模様は「音楽の友」でも大きく取り上げられ、NHK FMやTBS「百万人の音楽」からは特集番組として、放送されて話題を呼びました。ステージも年間約100回を越え、東京合唱協会により初演された曲も数十曲を数えます。

内藤 彰(常任指揮者)

名古屋大学理学部卒業。在学中より指揮を山田一雄氏に師事する。桐朋学園大学研究科(指揮専攻)にて小沢征爾氏、秋山和慶氏、尾高忠明氏他に師事し、修了後、(社)山形交響楽団の専属指揮者を3年間務める。これまでに、新日フィル、東フィル、東響、新星日響、シティーフィル、九響、名フィル、他日本の多くの主要オーケストラを指揮してきた。

'84年「東京合唱協会」、'87年「ニューシテイ管弦楽団」を設立し、常任指揮者を勤め、この楽団と共に近年、バレエ、オペラの分野にも活躍の場を広げつつある。日本指揮者協会幹事。

東京合唱協会

指揮———内藤 彰

ピアノ———清水 良枝

松村 結子

インスペクター———遠藤 恵子

ソプラノ———池田 友美

今村由美子

岩井 秀子

ト部 博子

遠藤 恵子

栗田真希子

小林 悦子

小山はる美

里村 照子

只野裕美子

田中 美香

寺元 紫

山館 ア子

六角 玲子

アルト———石田 幸子

稲葉 洋子

笹子 正江

鈴木 光子

園田 りか

江副 淳子

小松裕美子

北川 桜

田村真寿美

高木 朋子

古市 尚子

林 里花

テノール———有銘 哲也

勝田 達夫

下村 雅人

鈴木 裕

平田 孝二

古島 肇

渡辺 直人

バス———石井 敏郎

植田 真史

大沢 建

城山 純

星野 淳

松井 廣司

ウィーン我が夢の街 ■世界合唱名曲集

ピアノ:清水良枝

美しく青きドナウ	シュトラウス作曲
ウィーン我が夢の街	シジンスキー作曲
フニクリフニクラ	デンツァ作曲
ともしび	ロシア民謡
流浪の民	シューマン作曲
揺れる馬車	黒人霊歌
星に願いを	ハーライン作曲

恋は野の鳥 ■オペラ合唱名曲集

構成/国松真知子 ピアノ:松村結子

歌の殿堂<タンホイザーより>	ワーグナー作曲
婚礼の合唱<ローエングリンより>	ワーグナー作曲
シャンペンの歌<こうもりより>	シュトラウス作曲
独唱:岩井秀子(Sop) 下村雅人(Ten) 星野淳(Bass)	
愛の2重唱<メリーウイダーより>	レハール作曲
栗田真希子(Sop) 勝田達夫(Ten)	
恋は野の鳥<ハバネラ><カルメンより>	ビゼー作曲
高木朋子(Alto)	
行進の合唱<カルメンより>	ビゼー作曲

からたちの花 ■山田耕作作品集 <女声合唱> 三善晃 編曲 ピアノ:清水良枝

この道	北原白秋 作詞
赤とんぼ	三木露風 作詞
待ちぼうけ	北原白秋 作詞
ペチカ	北原白秋 作詞
からたちの花	北原白秋 作詞

サウンド・オブ・ミュージック メドレー ■リチャード・ロジャース作曲

振付け/細野修男 編曲/小林隆一 植田真史 ピアノ:松村結子

テーマ
マリア
私のお気に入り
羊飼
もうすぐ17才
エーデルワイス
ドレミの歌
すべての山に登れ

マリア:寺元 紫 リーズル:北川 桜 ロルフ:平田孝二 トランプ大佐:大沢 建

●ウィーン我が夢の街

美しく青きドナウ

数あるウイナワルツの中で最も親しまれている傑作です。色々なロマンスに富んだ中欧を洋々と流れているドナウ川こそは全ヨーロッパ人あこがれの風光です。

ウィーン我が夢の街

ウィーン子のウィーンに対する深い愛着がややくだけた感じのワルツで歌われ、その庶民性ゆえに広く歌いつがれています。

フニクリ・フニクラ

有名な、イタリア民謡です。ベスピオス火山の登山電車の歌で登山鉄道のコマーシャルソングとしてつくられました。

ともしび

戦いに行く若い兵士と国に残る恋人が互いに胸にいたく美しい愛情と悲しい別れのつらさが哀愁たつぷりと歌われています。

流浪の民

群れなして放浪生活をしていたジプシー達の朝まで続く夜の宴会を生き活きと描いています。東の空が明かると始め夜の姿が消え失せると曲を結びます。

揺れる馬車

詞は旧約聖書から取られ、黒人の魂のよりどころを求める深いかなしみが表われています。“私を揺れる馬車で家(天国)へどうぞ導いて下さい……”

星に願いを

数あるディズニーの名曲の中でも有名なこの曲は、あやつり人形のピノキオを人間の子供にして下さい。と天に祈って歌われます。

●恋は野の鳥

歌の殿堂

13世紀、ドイツのある町の領主ヘルマンの屋敷で伝統ある歌合戦が催されます。ファンファーレとともに騎士たちが歌の広間をたたえて、領主に挨拶の合唱を歌い、これに貴婦人が続き大合唱となります。

婚礼の合唱

有名な結婚行進曲のテーマが始まると第3幕の幕が上がります。第1の扉からは女官に導かれた花嫁エルザが、第2の扉からは王たちに導かれた花婿ローエングリンが入場してきます。

シャンペンの歌

場面はウィーンのロシア公爵邸。舞踏会はたけなわ、シャンペンが抜かれて、乾杯となりました。

愛の二重唱

ダニロとハンナの恋人どうしが歌う二重唱で美しいワルツのリズムに乗せて愛を歌い上げます。第2幕の“ヴァリアの歌”とともに広く愛唱されています。

恋は野の鳥

有名なカルメン登場のシーン。場所はセビアのタバコ工場前の広場。「恋は野の鳥、気粉れものよ……」と次々いい寄る男たちを受け流す様に歌います。

行進曲と合唱

セビアの広場、闘牛場の前、人々の歓呼の中を、闘牛士たちが次々と登場します。

彼らを迎える多勢の人達が歌う華やかな合唱です。

●からたちの花

この道

大正14年、夏、白秋が北海道に旅した時に札幌の思い出を綴った詩。耕箝は歌詞の内容を最高に美しく表現するため、3拍子と2拍子を巧みに組み合わせています。

赤とんぼ

詩は三木露風が7才の時、実家へ帰った母への慕情とふるさとの幡磨平野への思いを馳せたものです。この曲は、昭和2年、12月17日に作曲されています。

待ちぼうけ

この詩の元は昔の中国の思想家が書いた愚かな農夫の失敗話で、白秋がこれを巧みにバラード化して5章にまとめました。

ペチカ

白秋は満州に旅行した際の自然風物を思いうかべつつ、ペチカという異国情緒あふれる言葉をつかった、耕箝の曲はたった6小節の短かい節だが表情豊かな曲に仕上げられています。

からたちの花

詩は俗語であった終助詞「……よ」を脚韻にして詩語に高めた最初の作品として注目されている。耕箝は詩の抑揚に忠実に、しかも感情を込めて話しかけるような自然の流れのあるメロディーをつきました。

●サウンド・オブ・ミュージック

サウンド・オブ・ミュージック

“あらずじ”

主人公マリアがアルプスの山々にかこまれた草原で両手を広げ、うたいはじめるのがサウンド・オブ・ミュージック・テーマのはじまり、この身寄りのない若い尼僧のマリアが、母をなくした7人の子供のいるオーストリアのトラップ男爵の家庭教師に雇われます。歌を通して子供たちと心をかかわせた彼女のその大らかで、やさしい気立てにきびしいトラップ氏も徐々に心ひかれ後妻に迎えます。

時は、第2次大戦が始まろうとする頃でオーストリアにもナチスの勢いが浸透しつつある時、祖国がドイツに占拠されていくのがたまらないトラップ氏は家族を連れてアルプスを越え亡命します。“ドレミの歌”は山の草原に子供たちを連れてやってきたマリアが音楽の勉強をしようとして歌われる楽しい曲です。